

2026 年度 授業計画(シラバス)

学 科		理学療法士学科		科 目 区 分	専門基礎分野	授業の方法	講義演習
科 目 名		画像診断学		必修/選択の別	必修	授業時数(単位数)	16 (1) 時間(単位)
対 象 学 年		2年		学期及び曜時限	後期	教室名	301
担 当 教 員		杉原 翔太	実務経験とその関連資格	杉原:回復期病院で8年間勤務。認知症ケア専門士を取得。脳血管疾患のみならず循環分野にも携わる。□			
《授業科目における学習内容》							
臨床現場において多用される各種画像診断法(X線、CT、MRIなど)の基礎的な原理と特性を理科し、代表的な疾患の画像所見を読影する力を身につける。							
《成績評価の方法と基準》							
小テスト、筆記試験で総合的に評価を行う							
《使用教材(教科書)及び参考図書》							
PT・OT基礎から学ぶ 画像の読み方 医歯薬出版株式会社 配布資料							
《授業外における学習方法》							
教科書や配布資料を用いて予習・復習を行う							
《履修に当たっての留意点》							
ワークや口頭試問を通して、暗記・理解に繋げていく□ □							
授業の方法		内 容			使用教材		授業以外での準備学習の具体的な内容
第1回	講義形式	授業を通じての到達目標	X線、CT、MRI、エコーごとの適応と基本原理を説明できる□		教科書 配布資料	教科書を用いて講義内容の箇所を読んでおく。	
		各コマにおける授業予定	X線、CT、MRI、エコーの原理と特徴				
第2回	講義形式	授業を通じての到達目標	X線での骨折線・骨硬化・関節裂隙の変化を理解できる		教科書 配布資料	教科書を用いて講義内容の箇所を読んでおく。	
		各コマにおける授業予定	骨折、骨変形、変形性関節症のX線所見				
第3回	講義形式	授業を通じての到達目標	CT・MRI画像から椎体・椎間板・神経圧迫の状態を判断できる		教科書 配布資料	教科書を用いて講義内容の箇所を読んでおく。	
		各コマにおける授業予定	脊椎疾患(椎間板ヘルニア・狭窄・圧迫骨折)のCT・MRI				
第4回	講義形式	授業を通じての到達目標	画像に基づいて脳血管障害の部位・時期を判別できる		教科書 配布資料	教科書を用いて講義内容の箇所を読んでおく。	
		各コマにおける授業予定	脳梗塞・脳出血・くも膜下出血のCT・MRI所見				
第5回	講義形式	授業を通じての到達目標	脳萎縮や異常信号から神経変性・腫瘍性変化を把握できる		教科書 配布資料	教科書を用いて講義内容の箇所を読んでおく。	
		各コマにおける授業予定	認知症・パーキンソン病・脳腫瘍のMRI				

授業の方法		内 容		使用教材	授業以外での準備学習 の具体的な内容
第6回	講義形式	授業を通じての到達目標	局在による神経症状を画像と結びつけて説明できる	教科書 配布資料	教科書を用いて講義内容の箇所を読んでおく。
		各コマにおける授業予定	脳幹・視床・小脳・皮質領域の局在診断と症候群		
第7回	講義形式	授業を通じての到達目標	胸部画像から陰影や透過性の異常を読み取れる	教科書 配布資料	教科書を用いて講義内容の箇所を読んでおく。
		各コマにおける授業予定	肺炎・気胸・COPDなどの胸部X線・CT		
第8回	講義形式	授業を通じての到達目標	心不全・心筋梗塞・大動脈解離(心エコー・CT)	教科書 配布資料	教科書を用いて講義内容の箇所を読んでおく。
		各コマにおける授業予定	心拡大、血流障害、大血管病変の特徴を画像で把握できる		
第9回	講義形式	授業を通じての到達目標			
		各コマにおける授業予定			
第10回	講義形式	授業を通じての到達目標			
		各コマにおける授業予定			
第11回	講義形式	授業を通じての到達目標			
		各コマにおける授業予定			
第12回	講義形式	授業を通じての到達目標			
		各コマにおける授業予定			
第13回	講義形式	授業を通じての到達目標			
		各コマにおける授業予定			
第14回	講義形式	授業を通じての到達目標			
		各コマにおける授業予定			
第14回	講義形式	授業を通じての到達目標			
		各コマにおける授業予定			